

雜 錄

或る人は砂場なんかで、そんな費用をかけてといふ人があるかも知れない。そういふ人は御相談にならない。苟も砂場の効用をよく知り、愈々其の利用を充分にしようと思はるゝ方は、是非此の夏から工夫して見て下さい。砂場の位置の關係にもよるが、大した費用のかゝる譯でもない。

茲に挿入した圖は、大阪の江戸堀幼稚園で近く砂場の上に新設せられた布屋根の寫真です。中々立派に丈夫に出來て居る。同園の膳たけ子氏のお話によると、此の布屋根を設けてから、雨天の日も自由に砂遊びが出來るといふことである。但し此の砂場は三方建物に接して居て、そういふ時の便利には特別都合がよいのであるが、屋根の効用はいろゝの方面から充分認められ實證せられて居る。(寫真版が不鮮明でよく分らないかも知れませんが、上部に見えるのが布屋根の一部分です。右の窓柱へ紐で引張つてあります)

○幼稚園保姆養成につき建議

本年四月フレーベル會總會に於て決議いたしました幼稚園保姆養成につきての建議は、左の通りの建議文を以て、本會々長より當局へ手續を了せられました。

幼稚園保姆養成ニ關スル建議

家庭教育ノ缺點ヲ補ヒ國民教育ノ基礎ヲ堅フ
スル爲幼稚園教育ノ普及改善ヲ圖ルコト極メテ
緊要ナルハ言ヲ俟タスシテ明カナリ今ヤ各地ニ
於テ幼稚園教育ノ必要ヲ覺知シ之カ設立ヲ望ミ
改善ヲ希フ者漸ク多キヲ加フルノ情況ヲ呈シタ
ルハ國家教育上寔ニ悦フヘキノ現象ナリト雖如
何セン之カ教育ノ任ニ當ルヘキ保姆養成ノ機關
十分ナラサルヲ以テ優良ナル保姆ヲ得ルコト能
ハス爲ニ其企劃ヲシテ空シク水泡ニ歸セシムル
モノ鮮カラサルヲ惟フニ現行ノ規定ニ在テハ師
範學校規程中教育科ノ一部トシテ僅ニ保育法ノ

概説ヲ授ケ女生徒ヲシテ便宜保育ノ實習ヲ爲サ
ンムルノミナリ而シテ目下全國ノ師範學校中附
屬幼稚園ヲ設置スルモノ十九校ニ過キス又保姆
ノ資格ニ關シテハ小學校令施行規則ニ於テ小學
校本科正教員又準教員タルヘキ資格ヲ有スル者
又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘキコトヲ
規定セラル即チ幼稚園教育ニ關シテハ僅ニ保育
法ヲ學ヒタルニ過キサル者若シクハ之ニ關シテ
始ント何等ノ素養ナキ正準教員ヲシテ其任ニ當
ラシムルヲ得ルノ規定ナリ抑幼稚園ノ保姆ハ心
身共ニ幼弱ナル學齡以前ノ幼兒ヲ教育スル者ナ
ルヲ以テ其業決シテ容易ナラス而シテ小學校教
員タルモノニ特別ナル素養ヲ要スルニ等シク幼
稚園ノ保姆ニモ亦特別ナル素養ナカルヘカラス
然ルニ前陳ノ如ク保姆養成ノ道甚不完全ナルハ
實ニ教育上ノ一恨事ナリト信ス冀クハ一日早
ク完全ナル保姆養成ノ道ヲ開カレ幼稚園教育ノ
進歩改善ヲ圖ラレンコトヲ

本會ノ決議ニ基キ本會ヲ代表シテ茲ニ建議仕候
也

大正二年六月六日

フレーベル會代表者

フレーベル會々長 中川謙二郎

文部大臣法學博士與田義人殿

○寺院と幼稚園

定利の饒阿寺といへば、文治五年足利義兼開基以來の古刹で、
多くの國寶と特別保護建造物とで有名な大寺院である。山門を入
れば、廣々とした境内には一木一石にも懐しい古の香が漂ふて居
る。正面に方十間の大御堂を始めとして、風霜數百年の鐘樓や、
杉木立の間に見ゆる寶庫など、佇立懐古風韻盡き難きものばかり
である。しかも饒阿寺の誇りはただ過去の誇りのみではない。

寺院の廣い境内が、楽しい子供の遊び場になることは何處でも
同じである。心ない役僧達は、ただ之れかうるさきものに追ふこ
とのみするが子供の方から言へば、天の與への運動場と暮つて來
るのである。追ふは雑作もないことであるが、それに何とか、も
う少し優しい方法もないものであらうか。石段の上り下り、銀杏
の落葉拾ひ、御廻廊の日和ぼつこ、寺院は子供の爲に又とない和
樂の場所なのである。時あつて心なく寺院の尊嚴を犯す様な振舞
ひをすることはあつても、大慈悲は決して之れを厳しくは咎め給
ふまい。

○『胎教』 下田次郎氏著

折角の境内を領して、此せよ、まじい世に一劃の餘裕を擅にする寺院が、子供の遊び場を進んで提供せられんことは、世の識者の常に希ふ處である。饒阿寺の現學頭職忍空師は、うれしくも此の希望に背かない思ひやりを持つた人であつた。

饒阿寺の境内には、貴重な特別建造物などがあつて、幼稚園を立てることは許されない。そこで寺の構へ外の、寺領附屬の一棟を利用してこゝに幼稚園を設けられたが、遊園としては廣い境内をも使はれて居る。之れが今日の私立足利幼稚園である。

寺院と幼稚園。寺院と幼児預所。何たる適當なる結びつきであらう。全国各地方に、續々斯ういふ設立があつてほしいものである。

○加古川幼稚園

松の名所播州は加古川町に私立加古川幼稚園といふがある。

同町の大西與一郎氏其他の經營になるが、いづくも同じ教育事業の個人經營は容易のことでない。特別に一園を新築するといふ運びにもゆき難かつた處から、同町小學校の一部を借用することに於て保育を始めたが、然し、設立者の熱心は次第に町の人に知られて來た。則ち加古川町は同小學校敷地内に幼稚園の建物を新築して呉れるに至つた。つづいて有志家の寄附金は千に上つた。是に於て通常の午前保育も出来るやうになり、萬端益々好況に向つて來たと、大西氏からの通信があつた。因に同園では尙ほ一名の保姆を任用したいと云ふ希望ださうである、志望の人は直接（同園大西與一郎氏宛）照合せられたがよからう。

昔からの傳説や俗間のいましめには随分誇張の過ぎた迷信めいたことなどありますが、胎兒が胎内に宿る九ヶ月の間、平常にも増して慎むべき心の教への貴重なことは言ふ迄ありません、其の胎教に就て、若き夫人方に奨むべき纏つた書物の無いことは確に從來の缺乏でありました。東京女子高等師範學校教授下田次郎氏が新しい生理學心理學を基礎として、古典と東西の實例とを引き平易に親切に、諸方面から説明教説を與へられたのは實に此の缺陷を補ふ好著と申すべきであります、之れで從來何となく古臭い様な感じの伴つた胎教が初めて新しい智識と教訓とになりました。裝釘體裁亦此の種の書にふさわしく意を用ひてあります。東京橋區南紺屋町實業之日本社。（定價五拾五錢）

○『一歳より廿二歳に至る子供の生活』 水野義三郎氏譯

米國のムーレー氏の著『一歳から廿二歳まで』が水野義三郎氏によつて譯せられました。兒童期の全體に亘つて、簡潔に諸方面のまとまりのつけてあるのは若い讀者に便利であります（東京麴町區二丁目落陽堂。定價五拾錢）